

南海トラフ地震に対する緊急防災対策シンポジウム 開催報告

【南海トラフ地震対策中部圏戦略会議】

南海トラフ地震などの大規模災害に対し、人命や地域の生産活動を守り、リスクの高い地域の強靱化を加速させるため、産学官民が協働して対応すべき事項について意見交換を行い、社会資本整備の重要性の浸透に繋げることを目的に、「南海トラフ地震に対する緊急防災対策シンポジウム」を開催しました。

開催日時：平成29年5月18日（木）15:00～17:00

開催場所：ポートメッセなごや（名古屋市港区）

主催：南海トラフ地震対策中部圏戦略会議
（事務局：国土交通省中部地方整備局）



約800名の参加者

開催内容：

（1）基調講演

演題①：「産学官民の自助・共助で南海トラフ地震を克服する」

福和伸夫氏（名古屋大学教授 減災連携研究センター長）

演題②：「南海トラフ地震の被害の最小化に向けた三重県の取組」

鈴木英敬氏（全国知事会危機管理・防災特別委員長 三重県知事）

（2）パネルディスカッション

テーマ：「南海トラフ地震の被害の最小化に向けての産学官民の役割」

コーディネーター

：奥野 信宏 氏（公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター長）

パネリスト

：鈴木 英敬 氏（全国知事会危機管理・防災特別委員長 三重県知事）

佐々木真一 氏（トヨタ自動車株式会社 顧問・技監）

福和 伸夫 氏（名古屋大学教授 減災連携研究センター長）

山岡 耕春 氏（名古屋大学大学院環境学研究科教授・副研究科長）

塚原 浩一 （国土交通省 中部地方整備局長）



基調講演

演題1

産学官民の自助・共助で南海トラフ地震を克服する

名古屋大学教授
減災連携研究センター長 福和 伸夫氏



◎主な講演内容

- ・土地の成り立ちから想定される名古屋市の被害
- ・ライフライン途絶と企業の復旧対応への不安
- ・サプライチェーン強靱化とインフラ整備の重要性
- ・あいちなごや強靱化共創センターの取り組み
- ・産学官民の総力を結集した「事前対策、最中対策、事後対策」の必要性

演題2

南海トラフ地震の被害の最小化に向けた三重県の取組

全国知事会危機管理
・防災対策委員長 鈴木 英敬氏
三重県知事



◎主な講演内容

- ・災害対策に関する三重県の体制・訓練の特徴と自衛隊との連携強化
- ・三重県防災・減災対策行動計画(仮称)の策定
- ・新しい防災情報プラットフォームの運用開始
- ・DONETを活用した津波予測・伝達システム
- ・DONETの伊勢志摩サミットでの活用と県南部地域への展開
- ・三重県広域受援計画(仮称)」の策定
- ・「災害情報ハブ」推進チームへの参画

パネルディスカッション

『南海トラフ地震の被害の最小化に向けての産学官民の役割』



コーディネーター
名古屋都市センター長
奥野信宏氏



パネリスト
三重県知事
鈴木英敬氏



パネリスト
トヨタ自動車顧問・技監
佐々木真一氏



パネリスト
名古屋大学教授
福和伸夫氏



パネリスト
名古屋大学教授
山岡耕春氏



パネリスト
中部地方整備局長
塚原 浩一



◎パネルディスカッション概要

テーマ:『防災・減災に資する国土強靱化の推進に向けた取り組みと中部圏の課題』

- ・南海トラフ地震に関する最新研究、被害予測 【山岡教授】
- ・トヨタ自動車における防災・減災の取り組み 【佐々木顧問・技監】
- ・巨大災害に備えた社会資本整備 【塚原局長】
- ・官公庁施設とライフラインの耐震化の重要性 【福和教授】
- ・高規格幹線道路等の整備及び排水対策への期待 【鈴木知事】

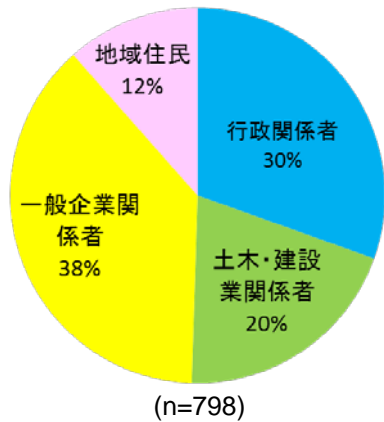
テーマ:『社会資本の強靱化の推進や発災後の迅速な復旧』

- ・産業界から見た社会資本整備の重要性 【佐々木顧問・技監】
- ・強靱化を進めるための産学官の役割 【福和教授】
- ・多様な組織による防災・減災の取り組みのあり方 【山岡教授】
- ・みえ防災・減災センター及び三重県ラストワンマイル検討会 【鈴木知事】
- ・中部圏戦略会議の具体的な取組方針 【塚原局長】

◎まとめ

- ・南海トラフ地震の議論は内陸部の議論でもあり地域活性化が有事の国土強靱化になる。
- ・南海トラフ地震に対する民間企業の取り組みは中部圏の企業がリードすべき。
- ・南海トラフ地震について行政機関や民間業者の取り組みが進んでいるが、関係機関でタイムライン等を作成して、連携を深めるべき。

来場者の内訳



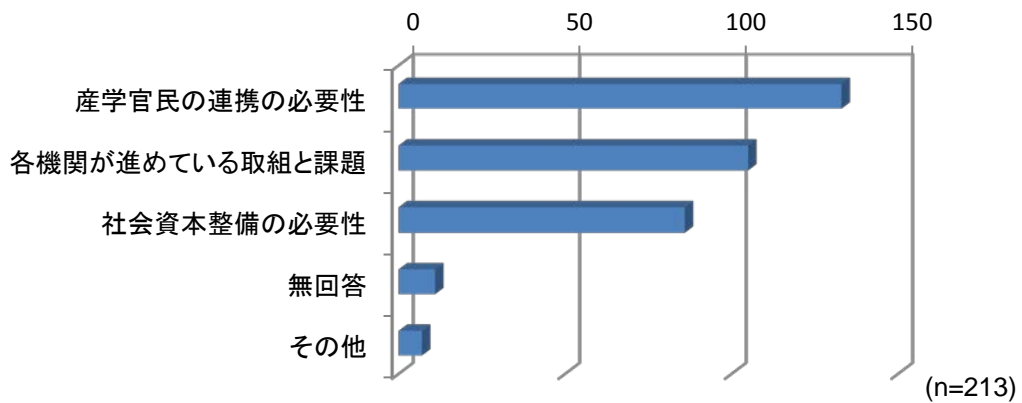
◎来場者数 798名

◎ポイント

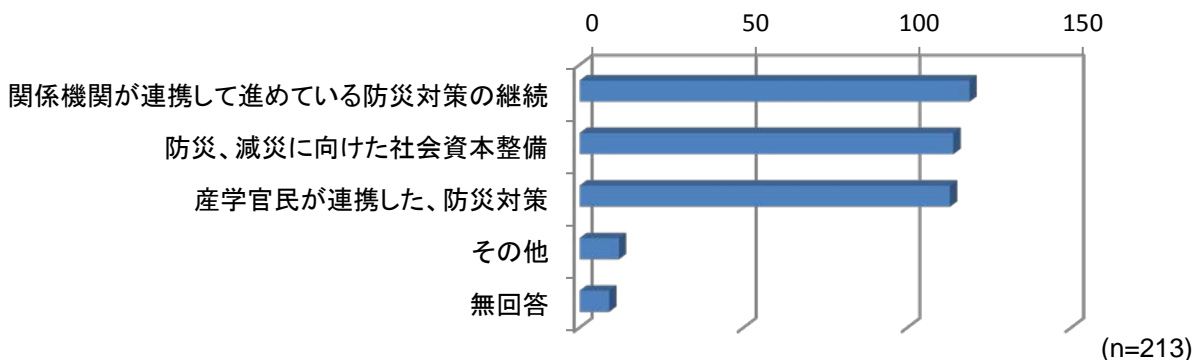
・行政関係者や土木・建設業関係者に加え、ガス・電力などのインフラ、工業、通信などの一般企業関係者が多く参加した

来場者アンケートの結果(一部抜粋)

◎南海トラフ地震対策について理解したこと



◎今後の中部圏戦略会議の取り組みへの期待



◎来場者からの主な意見

- ・行政も民間も危機意識をいかに形にするかが重要
- ・中部圏特有の強みと弱みがあることを知った。自分も自助努力を高めたい
- ・ハード面もソフト面も一体的に検討整備することが重要であり、そこに向けた協働の必要性について再認識した
- ・防災は特別なものでなく、日常化すべき事の重要性を感じた

お問い合わせ先

中部地方整備局企画部防災課 運用企画係 (南海トラフ地震対策中部圏戦略会議事務局)
電話: 052-953-8357 mail: cbr-bousaika@mlit.go.jp